SONY

2-584-484-**01** (1)

取扱説明書

NW-HD3

Network Walkman

Portable Hard Disk Audio Player



Atrac3plus

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

読みたいページにジャンプするには、PDFの「しおり」を表示して項目をクリックするか、取扱説明書の「目次」で項目をクリックしてください。

WALKMAN

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5~8ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

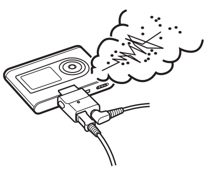
1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、変換アダプターやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



❶ACパワーアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く。

❷お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

安全のために....................................2
使用上のご注意...............................8

準備

付属品を確かめる 9
推奨アクセサリーのご案内 9
各部の名前....................................10
シリアルナンバーについて 10
充電する 11
電池残量を確認する..................13
SonicStageをパソコンに
インストールする 14
必要な環境を準備する...............14
インストールする.......................15
パソコンに音楽データを取り込む..16
本機に音楽データを転送する........18
SonicStageのヘルプを使う 20

再生

再生する 22
誤操作を防ぐ（HOLD機能）......23
再生の基本操作一覧
（再生、停止、頭出しなど）........24
表示窓の情報を確認する 24
選んで再生する
（アーティスト、アルバム、
ジャンル、グループなど）.............25
MODE画面一覧 27
ブックマークを付ける
（ブックマークトラック再生）...28
再生方法（Play Mode）を
変えて再生する...........................29
Play Mode項目一覧...............30
繰り返し聞く（Repeat)...........32
音質や表示の設定を変える 33
設定項目一覧 34
好みの音質に細かく設定する
（Sound EQ - Custom)..........36
高音や低音を強調する
（デジタルサウンド
プリセット)...........................37

その他の機能

転送した曲をパソコンに戻す........38
他の機器に接続する 39
音楽以外のデータを保存する........40
お買い上げ時の設定に戻す 40
初期化する....................................41

その他

本機を廃棄するときのご注意........43
故障かな？と思ったら 45
メッセージ一覧.............................49
お手入れ 51
保証書とアフターサービス 51
主な仕様 52
索引 53

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
□ 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
□ この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。
パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

危険 火災 破裂

この製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、
必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない。

禁止

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターと変換アダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない。

禁止

分解しない。

分解禁止



感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。
ただし、廃棄時には42ページの手順に従って内蔵の充電池を取りはずし、リサイクルにご協力ください。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。

禁止

変換アダプターにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。

禁止

変換アダプターの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談下さい。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けて下さい。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談して下さい。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない。



- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプター、USBケーブルを変換アダプターから抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない。



交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。



感電の原因となります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない。

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

本体や変換アダプター、あるいはACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
  - －直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - －ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
  - －磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - －ホコリの多いところ。
  - －ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - －振動の多いところ。
  - －風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - －本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



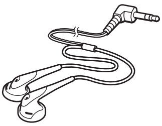
  - －本体にリモコン/ヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

ご注意

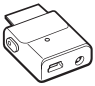
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

付属品を確かめる

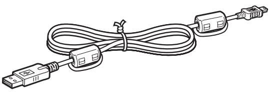
- ヘッドホン（1）



- 変換アダプター（1）
  （付属のUSB接続ケーブル、ACパワーアダプター接続用）



- 専用USB接続ケーブル（1）



- ACパワーアダプター（1）
- キャリングケース（1）
- CD-ROM（1）*
  （SonicStage（ソニックステージ）、取扱説明書のPDF）
- クイックスタートガイド（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- カスタマー登録のお願い（1）
- 安全のために（1）

* CD-ROMは、音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

推奨アクセサリーのご案内

本機用の推奨アクセサリーとして、下記のアクセサリーをご案内いたします。

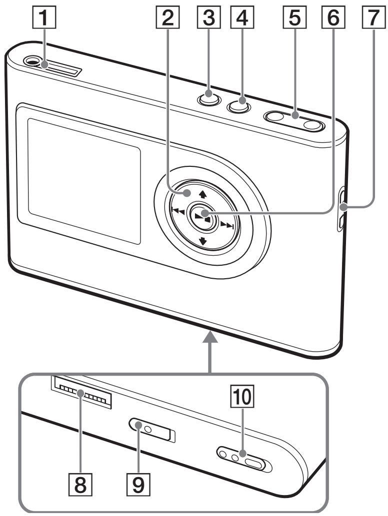
- 漢字表示対応3行ジョグダイヤルリモコンRM-MC40ELK
- 漢字表示対応スティック・コントローラー RM-MC35ELK

別売りリモコン使用時のご注意

- 推奨のリモコンに表示されていても、本機では、一部使えない機能があります。
- 詳細な使い方は、下記URLのPDFをご覧ください。
  - http://www.sony.jp/support/p-audio/contents/pdf/RM_MC40ELK.pdf
  - http://www.sony.jp/support/p-audio/contents/pdf/RM_MC35ELK.pdf
- 各アクセサリーについて詳しくは下記URLをご覧ください。
  - http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=17150&KM=RM-MC40ELK
  - http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=10824&KM=RM-MC35ELK

各部の名前

本体



1 ◯(ヘッドホン)/LINE OUTジャック(☞22ページ)

2 ↑、↓、⏮、⏭ボタン(☞24、25ページ)

3 MENUボタン(☞29、33ページ)

4 MODEボタン(☞25ページ)

5 VOLUME＋*/－ボタン(☞22ページ)

6 ►■(再生/停止)ボタン(☞22、24ページ)

7 ハンドストラップ穴**

8 変換アダプター接続部(☞11、19ページ)

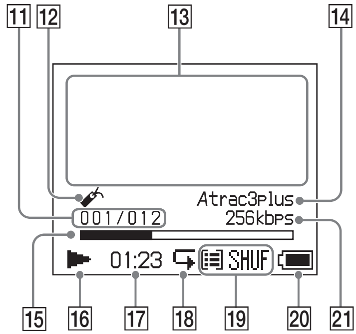
9 BUILT－IN BATTERYスイッチ(☞11ページ)

10 HOLDスイッチ(☞23ページ)

* 凸点(突起)が付いています。操作の目印として使ってください。

** お手持ちのハンドストラップを付けられます。

本体表示窓



11 曲番表示(☞24ページ)

12 ブックマーク表示(☞28ページ)

13 文字情報表示部(☞24ページ)

14 Atrac3plus/MP3表示(☞23ページ)

15 再生位置表示(☞24ページ)

16 再生状態(☞24ページ)

17 再生時間(☞24ページ)

18 リピート表示(☞32ページ)

19 プレイモード表示(☞30ページ)、サウンド表示(音量調節時、☞34ページ)

20 電池残量表示(☞13ページ)

21 ビットレート表示(☞17ページ)

シリアルナンバーについて

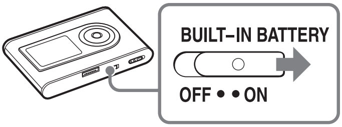
カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。

充電する

初めて使うときや電池が消耗したときは、本体内蔵の充電式電池（充電池）を充電してください。

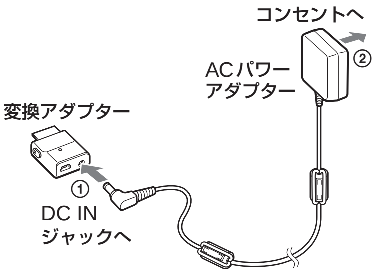
1 BUILT-IN（ビルトイン） BATTERY（バッテリー）スイッチをスライドしてON（オン）にする。

内蔵リチウムイオン充電式電池の保護機能が解除されて、通電が始まります。通常はONのままお使いください。



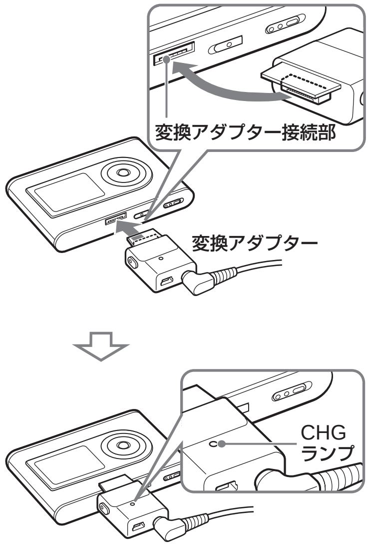
2 変換アダプターにACパワーアダプターを接続する。

先にACパワーアダプターを変換アダプターに接続し、次にコンセントに差し込みます。



3 本体に変換アダプターを接続する。

イラストの矢印の向きに、「カチッ」と音がするまで変換アダプターを差し込みます。変換アダプターのCHG（チャージ）ランプが点灯して、本体の電源が入っている場合はバッテリー表示が変わり、充電が始まります。



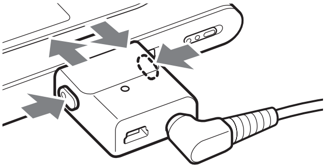
充電は約3時間*で終わり、CHGランプが消えて、本体の電源が入っている場合は表示窓に稲妻マークが点灯します。急いで充電したい場合は、表示窓が消えた状態でかつ、USB接続ケーブルを抜いた状態で充電すると、約1時間*で約80%充電されます。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。本体表示窓がついている場合は、約5時間で充電が完了します。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

次のページにつづく ⟶

本体から変換アダプターを取り外すには

変換アダプターの両側にあるグレーのボタンを押しながら、変換アダプターを奥へ押し付けてから引き抜いてください。



USB接続で充電するには

パソコンの電源を入れて、USBケーブルをパソコンに接続してください（☞18ページ）。CHGランプが点灯して、充電が始まります。約5時間で充電が完了します。なお、ACパワーアダプターが接続されているときは、ACパワーアダプターから充電されます。

ご注意

- USB接続で充電する場合、パソコンの電源が充分でないと、充電時間が長くなることがあります。
- USB接続で充電中に、パソコンの状態によっては、充電が停止します。
- 充電中に長時間パソコンとUSB接続していると、本体の温度上昇を抑えるために一時的に充電を停止することがあります。充電が停止した場合は、CHGランプが消えます。本体から変換アダプターを外し、しばらくたってから再び充電をしてください。
- 3か月以上お使いにならないときは、内蔵充電池の劣化を防ぐため、BUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにしてください。
- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。

ACパワーアダプターについてのご注意

- 本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。



- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はすみやかにコンセントから抜いてください。
- 充電には付属のACパワーアダプターと変換アダプターをお使いください。

リチウムイオン電池について

Li-ion

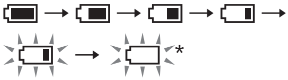
リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください（「本機を廃棄するときのご注意」☞43ページ）。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。

URL: http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

電池残量を確認する

表示窓に電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。



* 表示窓に「電池残量がありません」と表示され、「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池を充電してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。

電池の使用可能時間（連続再生時）*

ATRAC3plus（アトラックスリープラス） 48kbps再生時で約30時間、MP3（エムピースリー） 128kbps再生時で約22時間です。再生時間は、使用状況によって変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

SonicStageをパソコンにインストールする

付属のCD-ROMを使って、パソコンにSonicStageをインストールします。

必要な環境を準備する

以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機	
	• CPU：Pentium Ⅱプロセッサー 400MHz以上（Pentium III 450MHz以上推奨） • ハードディスクの空き容量：200MB以上（1.5GB以上推奨） （お使いのWindowsのバージョンや扱う音楽ファイルの量に比例して空き容量が必要です。） • RAM：64MB以上（128MB以上推奨）	
	その他	• CDドライブ（WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ） • サウンドボード • USBポート（本機はHi-Speed USBに対応しています。）
OS	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Media Center Edition 2005/Windows XP Media Center Edition 2004/Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition	
ディスプレイ	ハイカラー（16ビットカラー）以上、 800×600ドット以上（1024×768ドット以上推奨）	
その他	• CDDB、MUSIC NAVI、インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境 • WMAファイルを再生する場合は、Windows Media Player 7.0以上がインストールされた環境	

ご注意

- 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  －上記のOS以外のOS
  －自作PC
  －標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
  －マルチブート環境
  －マルチモニタ環境
  －Macintosh
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP/2000のNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみ使えます。
- Windows 2000の場合は、Service Pack3以降を導入してください。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。

インストールする

インストールの前に以下を確認します。

- 他のすべてのWindowsのプログラムを終了してください。特にウィルスチェックソフトは負荷が大きいため、必ず終了してください。
- 本機を使うときは、必ず付属のCD-ROMを使ってインストールしてください。
  – すでにOpenMG Jukebox、SonicStageがインストールされている場合は、上書きインストールされます。それまでにお使いいただいていた機器の機能は引き継がれ、新たに必要な機能が追加されます。
  – SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner、MD Simple Burnerがインストールされている場合は、共存します。
  – 登録した音楽データは、そのまま引き継がれます。念のため、音楽データのバックアップをとることをおすすめします。バックアップについては、SonicStageのヘルプ「マイ ライブラリをバックアップする」をご覧ください。

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

2 **パソコンのCDドライブに付属のCD-ROMを入れる。**

インストーラが起動し、インストールガイドが表示されます。

3 **次の画面が表示された場合は、使用する地域または国を選択しクリックする。表示されなかった場合は、手順4に進む。**



4 **「SonicStageインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作する。**

「SonicStageインストール」



注意事項をよくお読みください。お使いのパソコンの環境によっては、インストールに20 ～ 30分かかることがあります。
インストールが終わったら、必ずパソコンを再起動してください。
インストールできないときは、☞47ページをご覧ください。

アンインストールするときのご注意

SonicStageをインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

パソコンに音楽データを取り込む

音楽CDの曲をSonicStageのマイ ライブラリに取り込んで、録音します。
音楽CD以外に、インターネットやパソコン上の音楽ファイルも取り込めます。
詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞20ページ）。

「音楽を取り込む」　取り込み元選択リスト



「詳細設定」
「CD情報取得」

1 **「スタート」－「すべてのプログラム」*－「SonicStage」－「SonicStage」の順にクリックする。**

SonicStageが起動します。
以前のバージョンのSonicStageをお使いになっていた場合、インストール後、初めてSonicStageを起動したときは、「SonicStageファイル一括変換ツール」**の画面が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。



* Windows ME/2000/98SEでは「プログラム」

** 本機に高速で音楽データを転送できるように、SonicStage2.0以前で録音した音楽ファイルの形式（OpenMG）を、本機に最適な形式（OpenMG Audio）に変換するツールです。

2 **録音したい音楽CDを、パソコンのCDドライブに入れる。**

SonicStage画面左上の取り込み元選択リストに、「CDを録音する」と表示されます。

3 **SonicStage画面の「音楽を取り込む」をクリックする。**

音楽CDの曲が一覧で表示されます。

CD情報を自動で取得できなかったときは、インターネットに接続してから画面右下の「CD情報取得」をクリックして、アルバム名やアーティスト名、タイトルなどを曲の一覧に取り込みます。

4 **必要に応じて、録音時のフォーマットとビットレートを変更する。**

SonicStage画面右側の「詳細設定」をクリックして、「CD録音フォーマットの設定」画面を表示します。

お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio（ATRAC3plus）、ビットレートは64kbpsです。

5 **SonicStage画面の をクリックする。**

録音が始まります。

録音を途中でやめるには

SonicStage画面の をクリックする。

録音したくない曲があるときは

手順**5**の前に、SonicStage画面で、トラック番号をクリックして ☑ を外す。

ご注意

SonicStageで使える音楽CDは、COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークが入っているCDのみです。コピーコントロールCDでの動作保証はいたしません。

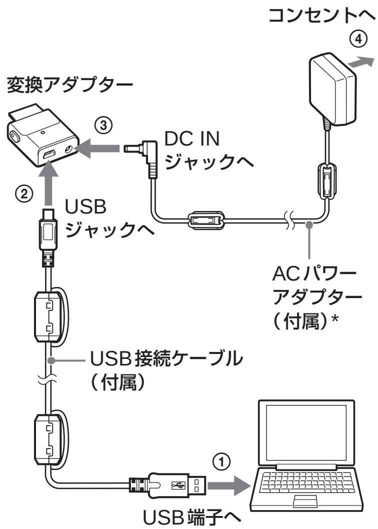
本機に音楽データを転送する

SonicStageのマイ ライブラリに録音した曲（音楽データ）を、ATRAC3plus/MP3のフォーマットで本機に転送します。転送する音楽データには、曲情報に入っているアーティスト名やアルバム名（オリジナルアルバム名）などの情報が含まれています。



1 変換アダプターをパソコンと電源に接続する。

下記イラストの①から④を接続します。USB接続ケーブル（付属）は、大きいほうの端子をパソコンのUSB端子に、小さいほうの端子を変換アダプターに差し込みます。



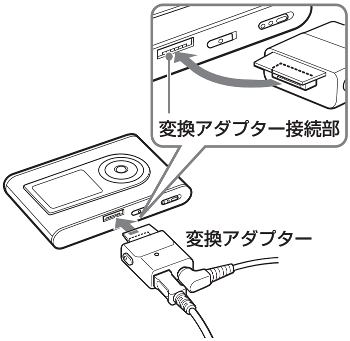
* 音楽データ転送時には、必ず変換アダプターにACパワーアダプターを接続してください。接続しないと転送できません。

2 **変換アダプターを本体に接続する。**

イラストの矢印の向きに「カチッ」と音がするまで、奥までしっかり本体に差し込みます。

本体表示窓に「PC Connect」と表示されます。

SonicStage画面に「自動転送の設定」画面が表示され、自動転送ができます。画面の指示に従って操作してください。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞20ページ）。



3 **SonicStage画面右上の「音楽を転送する」をクリックする。**

本機に音楽データを転送する画面が表示されます。

4 **SonicStage画面右上の転送先選択リストで「ATRAC Audio Device」を選ぶ。**

5 **SonicStage画面左側（マイ ライブラリ側）の一覧で、転送したい曲をクリックして選ぶ。**

複数の曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選びます。アルバム内の曲をまとめて転送する場合は、アルバムを選びます。

6 **SonicStage画面の［→］をクリックする。**

選んだ曲の転送が始まります。転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

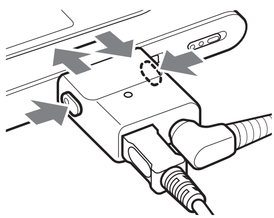
SonicStage画面の［■］をクリックする。

ご注意

転送中は、本機に振動や衝撃を加えないでください。また磁気を帯びたものを、近づけないでください。

本体から変換アダプターを取り外すには

変換アダプターの両側にあるグレーのボタンを押しながら、変換アダプターを奥へ押し付けてから引き抜いてください



次のページにつづく

ご注意

- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルや変換アダプターを抜かないでください。転送中のデータが壊れることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機での操作はできません。本機で再生中に、パソコンと接続した変換アダプターを本体に取り付けると、再生が停止し、本体表示窓に「PC Connect」と表示されます。
- 本機の空き容量が転送しようとした曲の容量よりも少ない場合、転送できません。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- SonicStageで入力した文字は、文字の種類や文字数によって、本機で表示できないことがあります。これは本機の制限によるものです。
- パソコンが起動した状態で本機をパソコンに接続したままにしたり、本機に大量のデータを転送した後は、本体が温かくなる場合がありますが故障ではありません。変換アダプターを抜いてしばらく放置しておくと常温に戻ります。

SonicStageのヘルプを使う

SonicStageのヘルプでは、SonicStageの使いかたについて詳しく説明しています。調べたいことがらを「音楽を取り込む」、「音楽を転送する」といった操作の目的から探したり、あらかじめ設定されている「キーワード」から探したりできます。また、ヘルプ内の説明を思いついた単語で「検索」することもできます。

1 SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。

ヘルプが表示されます。
ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

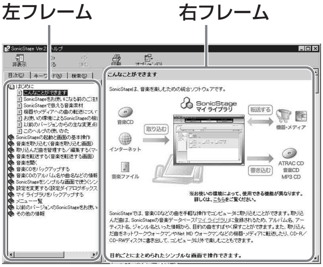
「SonicStageのヘルプ」



ご注意

- ヘルプでは、本機を「機器・メディア」と呼んでいます。
- 音楽配信サイトを利用するときは、プロバイダーが推奨する使用環境などの指示に従ってください。

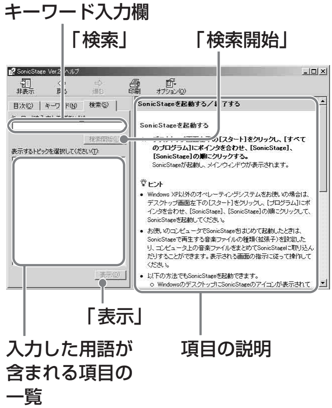
ヘルプの使いかたを見るには



1 左フレームの「 はじめに」をダブルクリックする。

2 「 このヘルプの使いかた」をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。
必要に応じてスクロールしてください。
下線付きの用語をクリックすると、
その用語の説明にジャンプします。

思いついた用語を入力して調べるには



1 「検索」をクリックする。

2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力する。

3 「検索開始」をクリックする。
入力した用語が含まれる項目の一覧が表示されます。

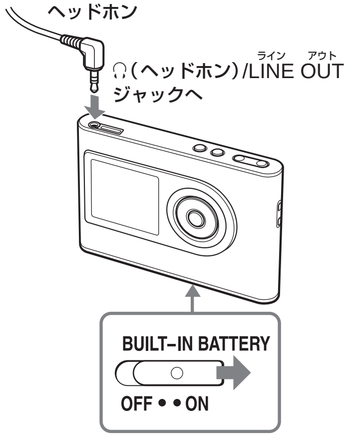
4 表示された項目から、内容を見たい項目をクリックする。

5 「表示」をクリックする。
選んだ項目の説明が表示されます。

再生する

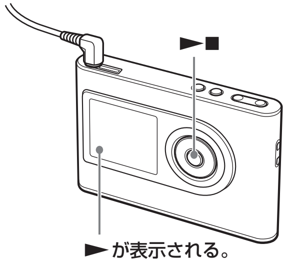
あらかじめ本機に音楽データを転送しておきます（☞18ページ）。
表示窓に表示されるメニューやメッセージなどの言語を変えることができます（☞33ページ）。

1 BUILT-IN BATTERYスイッチをON（☞11ページ）にしてから、ヘッドホンを本体に接続する。

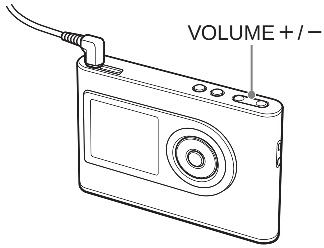


2 ►■を押す。

表示窓の左下に►が表示され、再生が始まります。



3 VOLUME＋/－を押して音量を調節する。



再生できる音楽データについて

本機では、ATRAC3plus（アトラックスリープラス）/MP3（エムピースリー）フォーマットの音楽データを再生できます。

ATRAC3plusは、Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding3plus（コーディングスリープラス）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。また本機で再生できるMP3フォーマットは、次の通りです。

– MPEG-1 Audio Layer-3
– ビットレート 32～320kbps（CBR/VBR）
– サンプリング周波数 32/44.1/48kHz

ご注意

- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲も、本機に転送されます。
- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲を再生しようとすると、再生が止まります。その場合は、▶▶I を押して別の曲を選び、再生してください。
- 電池で使用しているときに、停止状態のまま約30秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約30秒後に表示が消えます。
- ACパワーアダプターを接続しているときは、停止状態のまま約3分間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約3分後に表示が消えます。
- 再生が始まらないときは、HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください（☞右記）。

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。HOLD機能が働いているときは、操作しても表示窓に「HOLDがかかっています」と表示され、操作が無効になります。

1 **HOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。**

HOLDを解除するには

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

次のページにつづく ⟶

再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出しなど）

こんなときは	本体操作
続きから再生する	►■を押す。前回再生を止めたところから始まる。
再生を止める	►■を押す。
今聞いている曲を頭出しする	⏮を1度押す。
前の曲、更に前の曲を頭出しする*	⏮を繰り返し押す。
次の曲を頭出しする*	⏭を1度押す。
更に先の曲を頭出しする*	⏭を繰り返し押す。
早戻しする	⏮を押したままにする。
早送りする	⏭を押したままにする。

* Play Mode（☞30ページ）がシャッフル再生、プレイユニットシャッフル再生の場合は、動きが異なります。

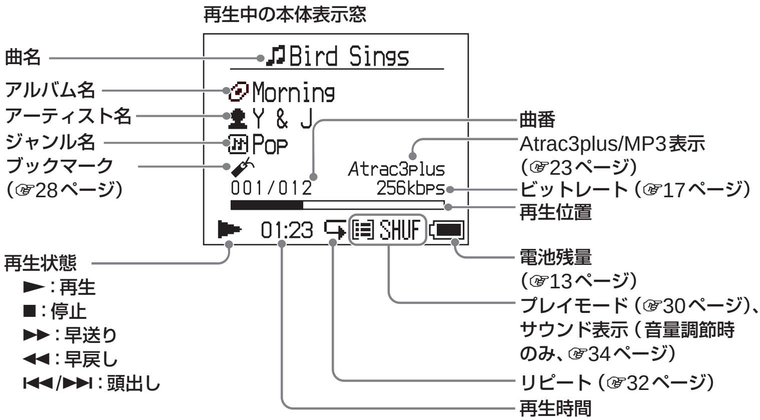
電源を切るには

表示が消えるまでMENUを押したままにする。

電源を入れるには、いずれかのボタンを押す。

表示窓の情報を確認する

再生中の表示窓で、音楽データや再生状態の詳しい情報を確認できます。



選んで再生する

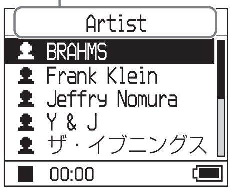
（アーティスト、アルバム、ジャンル、グループなど）

「Artist」や「Album」など（MODEと呼ぶ）で検索して、聞きたい曲を選べます。MODEには5種類あります。ここでは、「Artist」MODEを選んで再生するときの画面を使って説明します。
各MODEと表示される画面について詳しくは、☞27ページをご覧ください。
選んだ曲やアルバムなどで、リピート再生（☞32ページ）やシャッフル再生（☞30ページ）もできます。

1 MODEを繰り返し押して、MODEを選ぶ。

押すたびにMODEが以下のように切り換わります。
Artist（👤）→ Album（💿）* → Genre（🎼）→ Group（🗀）**→ Others → Artistに戻る

MODEが表示される。



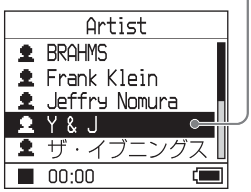
* SonicStageの曲情報に入っているアルバム名（オリジナルアルバム名）で表示されます。

**SonicStageの「アルバム」がグループとして認識されます。

2 ↑/↓で再生したい項目を選ぶ。

ここで再生を始めたいときは、►■を押します。
選んだアーティストの最初のアルバムの1曲目から順に再生し、その後に続く全アーティストのアルバムの全曲を再生します。

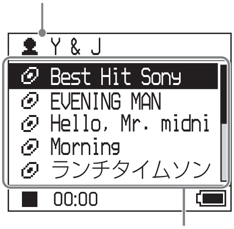
再生したいアーティスト



次のページにつづく ⟶

3 **更に細かく検索するには、►►I を押す。**

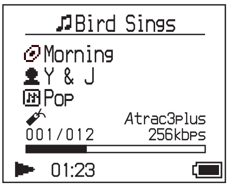
手順2で選んだアーティスト



選んだアーティストのアルバムが表示される。

4 **↑/↓で再生したい項目を選び、►■を押す。**

選んだ曲や項目（アルバム、アーティストなど）の1曲目から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。



再生を始めた画面に戻るには

MODEを押したままにする。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

曲一覧の画面に戻るには

↑または↓を押す。

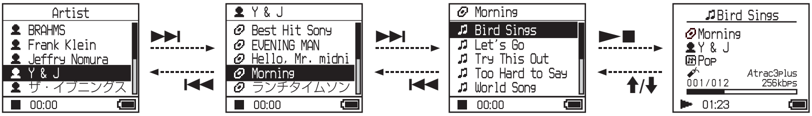
MODEを選ぶ画面や一覧画面で再生を止めるには

本体の►■を押したままにする。

MODE画面一覧

各MODEで表示される画面が異なります。
どの画面からでも、►■を押すと、再生が始まります。

Artist



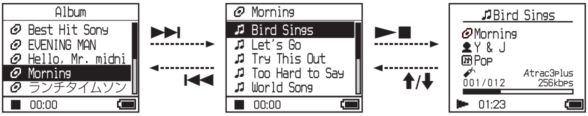
アーティスト一覧

選んだアーティストのアルバム一覧

選んだアルバムの曲一覧

再生中

Album：曲情報に入っているアルバム名（オリジナルアルバム名）で表示される。

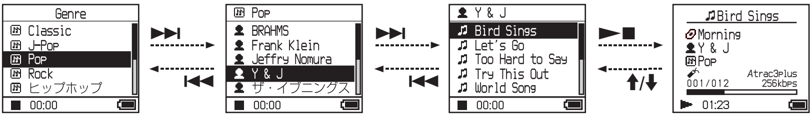


アルバム一覧

選んだアルバムの曲一覧

再生中

Genre



ジャンル一覧

選んだジャンルのアーティスト一覧

選んだアーティストの曲一覧

再生中

Group：SonicStageの「アルバム」のグループごとに再生する。



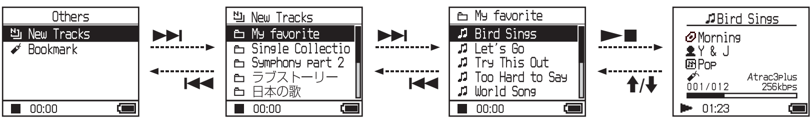
グループ一覧

選んだグループの曲一覧

再生中

Others

- 「New Tracks」: 新しく転送された（最近5回）グループに含まれる曲
- 「Bookmark」: ブックマークを付けた曲（設定方法は☞28ページ）



グループ一覧（New Tracks）/曲一覧（Bookmark）

選んだグループの曲一覧（New Tracks）

再生中

次のページにつづく

ブックマークを付ける（ブックマークトラック再生）

聞きたい曲にブックマークを付けることができます。ブックマークを付けた曲は、MODEで「Others」を選んで再生します（☞25ページ）。

---

1 ブックマークを付けたい曲の再生中に、⬆または⬇を押したままにする。

ブックマーク数（登録数/登録可能数）が表示され、🖉（ブックマーク）が点灯します。

---

2 複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順1を繰り返す。

ブックマークは、100曲まで付けられます。

ブックマークを付けた曲を再生するには

1 MODEを繰り返し押して、「Others」MODEを選ぶ。

2 ⬆/⬇で「Bookmark」を選び、▶▶I を押す。
ブックマークを付けたすべての曲を再生するときは、ここで►■を押します。

3 ⬆/⬇で聞きたい曲を選び、►■を押す。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲の再生中に、⬆または⬇を押したままにする。
「Off」と表示され、🖉が消えます。

ご注意

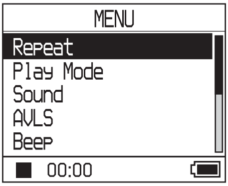
ブックマークを付けたり、消したりできるのは、再生中のみです。

再生方法（Play Mode）を変えて再生する

好きな曲だけを聞いたり、曲を順不同に聞くことができます。
再生方法（Play Mode）や再生範囲について詳しくは、☞30、31ページをご覧ください。
また、選んだ再生方法を繰り返して聞くこともできます（リピート再生、☞32ページ）。

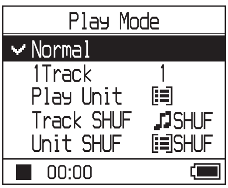
1 MENUを押す。

MENU画面が表示されます。



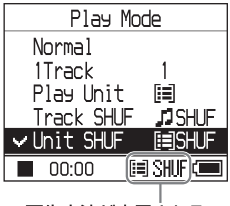
2 ↑/↓で「Play Mode」を選び、►■を押して決定する。

Play Mode画面が表示されます。



3 ↑/↓で再生方法を選び、►■を押して決定する。

初期設定は「Normal」（通常再生）です。



再生方法が表示される。

4 MENUを2回押して再生画面を表示し、►■を押す。

選んだ再生方法で再生が始まります。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

通常再生に戻るには

手順**3**で、「Normal」を選ぶ。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

Play Modeを変えると、プレイユニット（☞31ページ）は全曲に変更されます。
プレイユニットの再生をしたい場合は、一覧画面から項目（アーティスト、アルバム、曲など）を選んでください。

次のページにつづく ⟶

Play Mode項目一覧

再生するMODE（☞25ページ）によって、曲の再生範囲（プレイユニット、☞31ページ）が変わります。

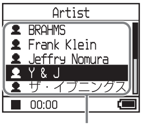
本体 / 本体のアイコン	説明
Normal/表示なし （通常再生）	選んだ曲の後に続くすべての曲を、順に1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲やアルバムの1曲目から順に1回再生します。
1Track/1 （1曲再生）	選んだ曲だけを、1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲だけを、1回再生します。
Play Unit/ （プレイユニット再生）	プレイユニット内の全曲を、順に1回再生します。
Track SHUF/ SHUF （シャッフル再生）	プレイユニット内の全曲を、順不同に1回再生します。 MODEを選ぶ画面を表示しているときに選ぶと、本機内の全曲を順不同に1回再生します。
Unit SHUF/ SHUF （プレイユニットシャッフル再生）	プレイユニット内の全曲を、曲やアルバム、アーティストなどの項目ごとに順不同に1回再生します。

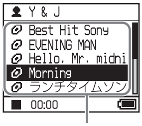
プレイユニットとは

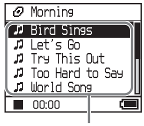
再生を始めたときに一覧に属しているすべての項目（アーティスト、アルバム、曲など）を、「プレイユニット」と呼びます。
Play Modeを変えると、プレイユニットは全曲に変更されます。

プレイユニットの再生について

例：「Artist」MODEを選んだときのプレイユニット



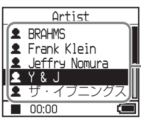




アーティスト一覧	アルバム一覧	曲一覧
全アーティストの全曲がプレイユニットになる。	アーティスト「Y & J」の全アルバムの全曲がプレイユニットになる。	アーティスト「Y & J」のアルバム「Morning」の全曲がプレイユニットになる。
プレイユニット再生をすると		
•「Y & J」の曲から順に再生し、「Jeffery Nomura」の全曲を再生して止まる。	• アルバム「Morning」の曲を順に再生し、「Hello, Mr. midnight」の全曲を再生して止まる。	• アルバム「Morning」の曲を順に全曲再生して止まる。
プレイユニットシャッフル再生をすると		
• アーティストごとに順不同に1回再生する。アーティスト内のアルバムや曲は順に再生する。	• アルバムごとに順不同に1回再生する。アルバム内の曲は順に再生する。	• アルバム「Morning」の曲を順不同に1回再生する。
シャッフル再生をすると		
• 本機内の全曲を順不同に再生する。	• アーティスト「Y&J」の全アルバムの全曲を順不同に再生する。	• アルバム「Morning」の曲を順不同に1回再生する。

シャッフル再生について

例えば、本機内の全曲をシャッフル再生するには、「Artist」MODEなど「Others」以外のMODEを表示して、Play Modeで「Track SHUF」（シャッフル再生）を選んで再生します（☞29ページ）。本機内の全曲を順不同に1回再生して止まります。



アーティスト一覧の場合は、全アーティストの全曲を順不同に再生して止まる。

次のページにつづく

再生

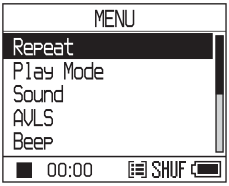
繰り返し聞く（Repeat）

☞29ページで選んだ再生方法を繰り返して再生します。

1 **繰り返したい再生方法を選ぶ（☞29ページ）。**

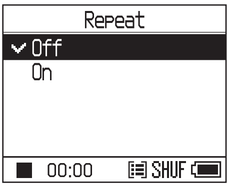
2 **MENUを押す。**

MENU画面が表示されます。

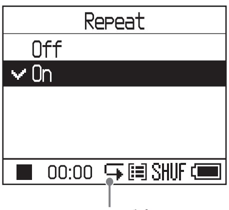


3 **↑/↓で「Repeat（リピート）」を選び、►■を押して決定する。**

Repeat画面が表示されます。



4 **↓で「On（オン）」を選び、►■を押して決定する。**



が表示される。

5 **MENUを2回押して再生画面を表示し、►■を押す。**

選んだ再生方法が繰り返されます。

全曲を繰り返し聞くには

例えば「Artist」MODEなど、「Others」以外のいずれかのMODEを選んでから、手順**1**～**5**を行う。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**2**の前の画面に戻る。

通常再生に戻るには

手順**4**のRepeat画面で「Off（オフ）」を選ぶ。

MODEを選ぶ画面に戻るには

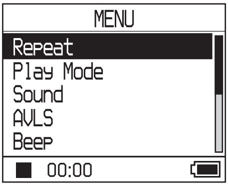
MODEを押す。

音質や表示の設定を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞34ページをご覧ください。

1 **MENUを押す。**

MENU画面が表示されます。



2 **↑/↓で項目を選び、►■を押して決定する。**

選んだ項目の画面が表示されます。

3 **↑/↓で設定内容を選び、►■を押して決定する。**

音質を変えるときは（Sound（サウンド））

手順**3**の後、↑/↓で設定内容（☞34ページ）を選び、►■を押して決定する。

「Custom1（カスタム）」、「Custom2（カスタム）」、「Custom3（カスタム）」または「Custom4（カスタム）」を選んだときは、音域ごとに更に細かく設定できます（☞36ページ）。

前の画面に戻るには

⏮を押す。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、または MENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

「V-SUR」または「Sound EQ」設定時は、MP3フォーマットの曲を再生しても、音質は変わりません。MP3フォーマットの曲の音質を変えたい時は、「Digital Sound Preset」を選んで設定してください。

次のページにつづく ⟶

設定項目一覧

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
Sound （音質設定）	● Off		通常の音質になります。
	V-SUR [1) 2)]	Studio （VS）	録音スタジオで聞いているような音質になります。
		Live （VL）	ライブハウスで聞いているような音質になります。
		Club （VC）	クラブで聞いているような音質になります。
		Arena （VA）	アリーナ会場で聞いているような音質になります。
	Sound EQ [1) 2)]	Heavy （SH）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
		Pops （SP）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
		Jazz （SJ）	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
		Unique （SU）	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質になります。
		Custom1 （S1）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます（設定方法は☞36ページ）。
		Custom2 （S2）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます（設定方法は☞36ページ）。
	Digital Sound Preset [2)]	Custom3 （S3）	高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質に設定できます（設定方法は☞37ページ）。
		Custom4 （S4）	高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質に設定できます（設定方法は☞37ページ）。
AVLS [3)] （快適音量）	On		音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。
	● Off		音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。
Beep （確認音）	● On		操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。
	Off		確認音は鳴りません。

1) ATRAC3plusフォーマットの曲を再生している時に、設定できます。MP3フォーマットの曲を再生している時には、音質は変わりません。

2) 設定内容が表示窓に（ ）内の文字で表示されます（☞24ページ）。

3) Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

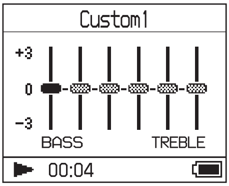
項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
Audio Out（外部出力音声）	● Headphone	付属のヘッドホンを接続しているときに選びます。
	Line Out	スピーカーなどの他機を音声コードで接続しているときに選びます（☞39ページ）。
Contrast（本体表示窓明暗調整）	● 右から2つ目	適度な明るさで表示します。本体の色が黒の場合は、お買い上げ時の設定は左から2つ目です。
	−〜＋	−に設定すると薄く、＋に設定すると濃く表示します。
Backlight（表示窓のランプ点灯）	● Auto	操作直後に約10秒間点灯します。また、表示をスクロールしている間点灯します。
	10秒	操作直後に約10秒間点灯します。また、表示がスクロール中でも、10秒を過ぎると消灯します。
	30秒	操作直後に約30秒間点灯します。また、表示がスクロール中でも、30秒を過ぎると消灯します。
	Off	表示が消灯し、電池の消耗を極力抑えます。
Reverse Display（反転表示）	● Positive	文字やアイコンは黒、背景色は白で表示します。
	Negative	文字やアイコンは白、背景色は黒で表示します。
Language（表示言語）	● 日本語	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。
	Français	フランス語で表示します。
	Deutsch	ドイツ語で表示します。
	Italiano	イタリア語で表示します。
	Español	スペイン語で表示します。

次のページにつづく

好みの音質に細かく設定する（Sound EQ - Custom）

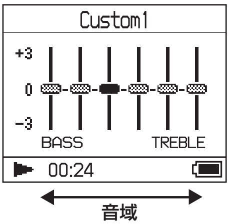
表示窓を見ながら、音域ごとに更に細かく音質を調節できます。

1 **「音質や表示の設定を変える」の手順2（☞33ページ）で「Sound」を選んだ後、「Sound EQ」の「Custom1」または「Custom2」を選ぶ。**



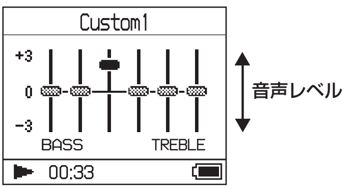
2 **⏮/⏭で音域を選ぶ。**

6つの音域があります。



3 **⬆/⬇で音声レベルを選ぶ。**

7段階の中から選びます。



4 **手順2と3を繰り返して残りの音域の設定を行う。**

5 **►■を押して決定する。**

MENU画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、または MENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

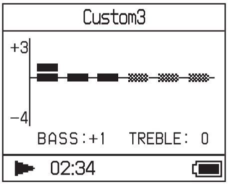
ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom1」または「Custom2」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質を設定できます。表示窓を見ながら音質を調節し、記憶させることができます。

1 **「音質や表示の設定を変える」の手順2（☞33ページ）で「Sound」を選んだ後、「Digital Sound Preset」（デジタル サウンド プリセット）の「Custom3」または「Custom4」を選ぶ。**

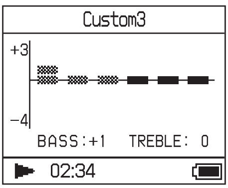


お買い上げ時の設定

音質	Custom3（S3）	Custom4（S4）	Off（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0

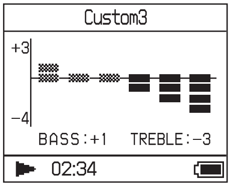
2 **⏮/⏭で「Treble」または「Bass」を選ぶ。**

Treble（高音）とBass（低音）の音質を調整できます。



3 **↑/↓で音声レベルを選ぶ。**

8段階の中から選びます。



音質	数値の設定
Bass（低音）	–4 ～＋3
Treble（高音）	–4 ～＋3

4 **►■を押して決定する。**

MENU画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

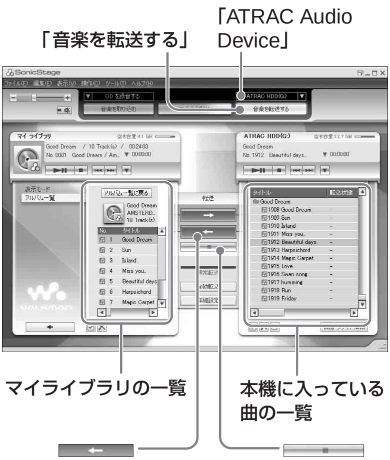
MODEを押す。

ご注意

- 設定するTreble（高音）とBass（低音）の値は、画面の左右両端に表示されます。中央の4つの値は、両端の値に連動して自動的に設定されます。選んで設定することはできません。
- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「Custom3」または「Custom4」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

転送した曲をパソコンに戻す

音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻します。



1 **本機をパソコンに接続する（「本機に音楽データを転送する」の手順1と2、☞18ページ）。**

2 **SonicStage画面右上の「音楽を転送する」をクリックする。**

SonicStageに音楽データを転送する画面が表示されます。

3 **SonicStage画面右上の転送元選択リストで「ATRAC Audio Device」を選ぶ。**

4 **SonicStage画面右側（本機）の一覧で、マイ ライブラリに戻したい曲をクリックして選ぶ。**

複数の曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選びます。アルバム内の曲をまとめて転送する場合は、アルバムを選びます。

5 **SonicStage画面の［←］をクリックする。**

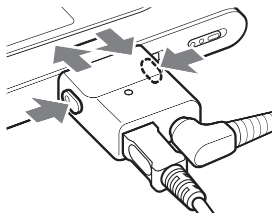
手順4で選んだ曲の転送が始まります。転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の［■］をクリックする。

本体から変換アダプターを取り外すには

変換アダプターの両側にあるグレーのボタンを押しながら、変換アダプターを奥へ押し付けてから引き抜いてください

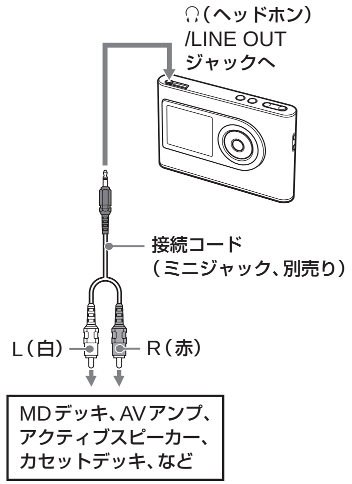


ご注意

- パソコンから本機に転送した曲は、同じパソコンにしか戻すことができません。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルや変換アダプターを抜かないでください。転送中のデータが壊れることがあります。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続、設定してください。



接続した機器に音声が出力されるように、MENU画面で「Audio Out」の設定を必ず変更してください。「Audio Out」の設定は以下のとおりです。設定方法は、☞33ページをご覧ください。

接続機器	設定
ヘッドホン	Headphone
接続コードで接続した機器	Line Out

他機に接続したときは、「Line Out」に設定します。「Line Out」に設定すると、音量調節と「Sound」の設定はできないだけでなく、働きません。

ご注意

- 付属のヘッドホンを接続しているときは、🎧（ヘッドホン）/LINE OUT出力の設定「Audio Out」を「Line Out」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。Windowsのエクスプローラのリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

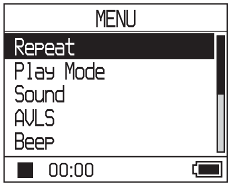
- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使ってWAVやMP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSB接続ケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。

1 停止中に、MENUを押す。

MENU画面が表示されます。



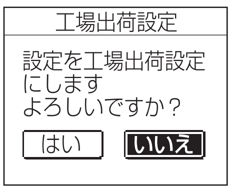
2 ↑/↓で「Format（フォーマット）」を選び、►■を押して決定する。

Format画面が表示されます。



3 「工場出荷設定」が選ばれているので、►■を押して決定する。

工場出荷設定画面が表示されます。



4 ⏮ で「はい」を選び、►■を押して決定する。

「設定を工場出荷設定にしました」と表示され、Format画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

手順**4**で「いいえ」を選び、►■を押すと、Format画面に戻る。
MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

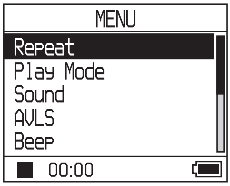
再生中は、お買い上げ時の設定に戻すことはできません。

初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。
本機を転送元のパソコンに接続すると、初期化により消した曲は、SonicStageで曲を戻したとみなされ、残りの転送回数が増えます。

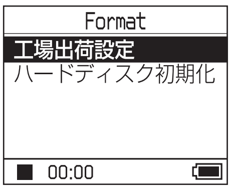
1 停止中に、MENUを押す。

MENU画面が表示されます。



2 ⬆/⬇で「Format」を選び、►■を押して決定する。

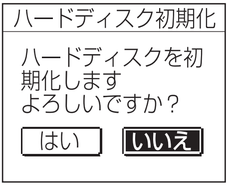
Format画面が表示されます。



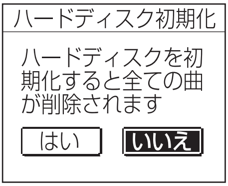
次のページにつづく

3 ➡で「ハードディスク初期化」を選び、►■を押して決定する。

ハードディスク初期化画面が表示されます。



4 ⏮で「はい」を選び、►■を押して決定する。



5 ⏮で「はい」を選び、►■を押して決定する。

「ハードディスクを初期化しました」と表示され、Format画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

手順**5**で「いいえ」を選び、►■を押すと、Format画面に戻る。
MENUを押すと、MENU画面に戻る。
MODEを押したままにする、またはMENU画面でMENUを押すと、手順**1**の前の画面に戻る。

MODEを選ぶ画面に戻るには

MODEを押す。

ご注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中は初期化できません。
- 初期化すると、音楽データや音楽以外のファイルがすべて削除されます。

本機を廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵の充電式電池を取り出してください。

> **⚠警告**
>
> 本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

⚠注意

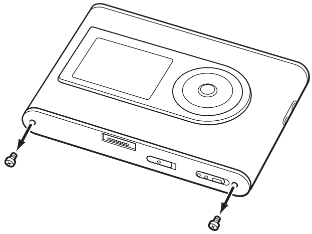
内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。

内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

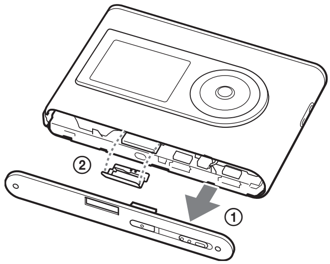
内蔵充電式電池の取り出しかた

1 本体底面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにする。

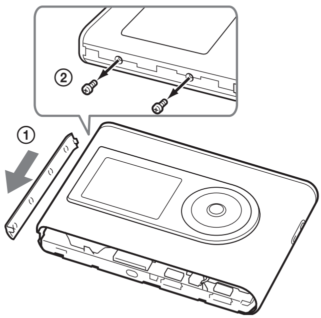
2 本体底面にある2本のネジを外す。



3 本体底面のプレート（①）を矢印の方向に外し、USBブラケット（②）をピンセットなどを使って外す。

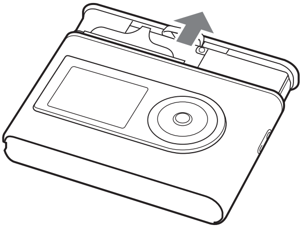


4 本体側面のプレート（①）を矢印の方向にスライドさせて外し、本体側面にある2本のネジ（②）を外す。

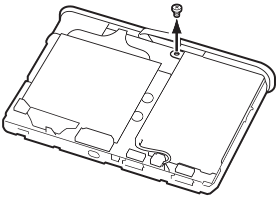


次のページにつづく

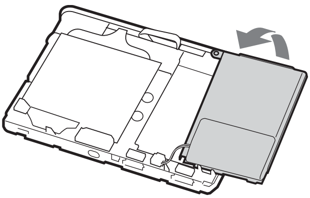
5 本体の中身を矢印の方向に引き出す。



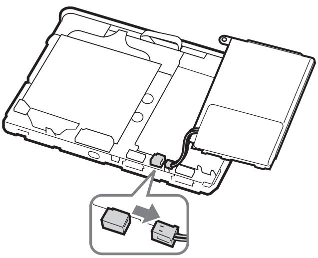
6 電池の横にある1本のネジを外す。



7 電池を本体から外す。



8 本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。



故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、もう1度以下の流れにしたがって、問題をチェックしてください。

1 本体底面のBUILT-IN BATTERYスイッチをOFFにして、再びONにする。
OFFにしても音楽データは失われません。

2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ
http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。

4 手順**1**～**3**を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
CHGランプが点灯しない。	➔ 変換アダプターの充電用端子が汚れている。乾いた柔らかい布などで充電用端子を拭く。 ➔ 変換アダプターが正しく接続されていない。変換アダプターを「カチッ」と音がするまで、本機の接続部の奥までしっかり差し込み、CHGランプが点灯するのを確認する（☞11ページ）。
CHGランプが点滅する。	➔ 充電可能温度範囲（5～35℃）外で充電しようとした。5～35℃の温度範囲で充電する。
電池の持続時間が短い。	➔ 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 ➔ 長期間使用していなかった。何回か充放電を行うと、電池性能が回復する。 ➔ 充電式電池の交換が必要。ソニーサービス窓口に問い合わせる。 ➔ 充電時間が短い。電池を保護するため、最初の15分間は電池状態のチェックを行い、その後急速充電をする。CHGランプが消えて充電が完了するまで、充電をする。

次のページにつづく

音声

症状	原因 / 処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	→ 音量がゼロになっている。音量を上げる（☞22ページ）。 → ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞22ページ）。 → ヘッドホンのプラグが汚れている。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭く。 → 曲が入っていない。
再生音が大きくならない。	→ 「AVLS」が「On」に設定されている。「AVLS」を「Off」に設定する（☞34ページ）。
右チャンネルから音が出ない。	→ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞22ページ）。
音量を調節できない。	→ 「Audio Out」が「Line Out」に設定されている。接続した機器側で音量を調節する。または「Audio Out」を「Headphone」に設定する（☞34ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	→ 「Audio Out」が「Headphone」に設定されている。「Audio Out」を「Line Out」に設定する（☞34ページ）。
MP3フォーマットの曲を再生時に、「V-SUR」または「Sound EQ」の設定をしても音質が変わらない。	→ MP3フォーマットの曲の音質を変えたいときは、「Digital Sound Preset」を選んで設定してください（☞34ページ）。

操作/再生

症状	原因 / 処置
ボタン操作に反応しない。	→ HOLDになっている（誤操作防止状態）。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞23ページ）。 → 結露している。そのまま約2、3時間おく。 → 電池の残量が少ない。充電をする（☞11ページ）。 → パソコンに接続し、更にパソコンが起動している場合、変換アダプターを接続しているときは操作できない。変換アダプターを外して操作する（☞12ページ）。
再生していたら急に音が止まった。	→ 電池が消耗している。充電をする（☞11ページ）。 → 本機で再生できない音楽データを、再生しようとしている（☞23ページ）。▶▶I を押して別の曲を選び、再生する。
表示窓のバックライトがつかない。	→ 「Backlight」が「Off」に設定されている。「Backlight」を「Auto」「10秒」「30秒」のいずれかに設定する（☞35ページ）。
タイトル欄に「□」と表示される。	→ 本機で表示できない文字が使用されている。付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換える。

表示が消える。	→ 停止状態のまま電池使用時は約30秒間、ACパワーアダプター使用時は約3分間操作がないと、自動的に表示が消える。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから電池使用時は約30秒後、ACパワーアダプター使用時は約3分後に表示が消える。更に、MENUを押したままにすると表示が消える。いずれの場合も、操作ボタンを押すと再び表示される。

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因 / 処置
インストールできない。	→ 対応のOS以外のOSを使っている（☞14ページ）。 → すべてのWindowsのプログラムを終了していない。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがある。特にウィルスチェックソフトは負担が大きいため、必ず終了する。 → ハードディスクの空き容量が足りない。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要のため、不要なファイルなどを削除する。
インストール作業が止まっているように見える。	→ 警告などのメッセージダイアログが、インストール画面の後ろに隠れている。「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押し、メッセージが表示されたら画面に従って操作する。メッセージが表示されないときは、インストール作業中のため、そのまま待つ。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	→ インストール作業は正常に行われているため、そのまま待つ。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合がある。
USB接続ケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「PC Connect」と表示されない。	→ SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合がある。しばらく待つ。 → パソコン上で他のアプリケーションが起動している。しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直す。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動する。 → USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に接続する。
パソコンに接続したとき、本体がパソコンに認識されない。	→ 変換アダプターが正しく接続されていない。「カチッ」と音がするまで、本機の接続部の奥までしっかり差し込む（☞19ページ）。 → USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に接続する。 → 本機用のドライバをインストールしていない。付属のCD-ROMを使って、もう1度SonicStageをパソコンにインストールすると、ドライバもインストールされる（☞15ページ）。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞15ページ）。 → 本体のBUILT-IN BATTERYスイッチをスライドしてONにする。

症状	原因 / 処置
転送できない。	➔ USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 ➔ 1つの曲をすでに3回転送している。1度転送した曲をパソコンに戻すと（☞38ページ）、再び転送できるようになる。 ➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞38ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に65,535曲を超える曲数、または4,096グループを超えるグループ数を転送しようとしている。または1グループにつき999曲を超える曲数を転送しようとしている。 ➔ 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがある。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者に問い合わせる。
転送できる曲数が少ない。（録音できる時間が短い。）	➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞38ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減る。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やす。
パソコンに戻せない。	➔ 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。転送元のパソコン以外には、曲を戻せない。 ➔ 転送元のパソコンで曲を削除した。パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せない。
本機をパソコンに接続すると勝手に曲の転送回数が戻ることがある。	➔ SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除した場合、自分のパソコンに本機を接続すると、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残りの転送回数を元に戻す。
パソコン接続中の動作が安定しない。	➔ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。動作保証外のため、付属のUSB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続する。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される。	➔ パソコンと本機が正しく接続されていない。SonicStageを終了し、USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再びSonicStageを起動しする。

その他

症状	原因 / 処置
操作時の確認音が鳴らない。	➔「Beep」が「Off」に設定されている。「Beep」を「On」に設定する（☞34ページ）。
本体や変換アダプターが温かくなる。	➔ 充電中または充電直後である。急速充電のため、充電中および充電直後は本体や変換アダプターが一時的に温かくなることがある。また、大量の曲を転送した場合も、本体や変換アダプターが一時的に温かくなることがある。しばらく放置する。
本体から「キーン」という音がする。または、本体が震えることがある。	➔ 本体内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
グループ数制限を超えました	グループ(アルバムやアーティスト)の数が制限数(8,192)を超えた。	→ 一覧画面(曲一覧を除く)での合計項目数が8,192を超えている。MODEを確認し、不要な音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻す(☞38ページ)。
再生できません 再生可能期間外です	• 再生期限開始前に再生しようとした。 • 再生期限が切れた後に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できない。
再生できません トラックエラーです	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直す(☞18ページ)。
再生できません PCに接続してください	本機の時刻設定が無効になっている。	→ パソコンに接続する(☞18ページ)。
再生を停止しないと操作できません	再生中に「MENU」の「Format」を選んだ。	→ 再生を停止してから、「Format」を選び直す。
システムエラーです <No.***> (***には番号が表示されます。)	システムエラーが発生した。	→ エラー番号をメモして、お客様ご相談センター(☞裏表紙)またはお買い上げ店に相談する。
システムファイルに不整合があります	システムファイルに不整合がある。	→ ハードディスクを初期化し(☞41ページ)、本機に音楽データを転送しなおす(☞18ページ)。
停止中は操作できません	停止中にブックマークを設定しようとした。	→ 再生中に設定する(☞28ページ)。
データベースがありません	パソコン接続終了時に本機に曲がない、またはすべてのMODEの情報が揃っていない。	→ 本機に音楽データを転送する(☞18ページ)。
電池残量がありません	電池残量がない。	→ 電池を充電する(☞11ページ)。
登録制限数を超えています	ブックマークの登録制限数を超えた。	→ 不要なブックマークを消し(☞28ページ)制限数以内でブックマークをつける。
トラックがありません	曲一覧で曲が表示されていない状態で、再生しようとした。	→ 曲が表示されている曲一覧で再生する。 → 本機に音楽データを転送する(☞18ページ)。

次のページにつづく

表示	意味	処置
本機では再生できないトラックです	• 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 • 回数制限付きの曲を再生しようとした。	➔ 本機で再生が許可されていない曲は再生できない。
ラインアウト設定のため変更できません	「Audio Out」の設定が「Line Out」のときに、音量または「Sound」の設定を変更しようとした。	➔ 「Audio Out」の設定を「Headphone」にする（☞34ページ）。
ACパワーアダプターをつないで下さい	• 変換アダプターのDC INジャックにACパワーアダプターが接続されていない状態で、パソコンと接続した。 • パソコン接続中にACパワーアダプターが変換アダプターから抜かれた。	➔ ACパワーアダプターを変換アダプターに接続する（☞18ページ）。
AVLS ON 音量を上げられません	音量がAVLSの制限値まで上がった。	➔ 「AVLS」の設定を「Off」にする（☞34ページ）。
HDDが正しく初期化されていません	• ハードディスクが正しく初期化されていない。 • パソコンで初期化されている。 • ハードディスク交換などで初期化していない。	➔ ハードディスクを初期化しなおす（☞41ページ）。
HDDは5℃～35℃で書き込み可能です	書き込み可能温度（5～35℃）の範囲外で操作しようとした。	➔ 5～35℃の範囲内で操作する。
HOLDがかかっています	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	➔ HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞23ページ）。
5℃～35℃内で充電して下さい	充電可能温度（5～35℃）の範囲外で充電しようとした。	➔ 5～35℃の範囲内で充電する。

お手入れ

キャビネットの汚れは

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。変換アダプター接続部分のすき間から内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾ぶきしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルハードディスクオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

記録できる最大曲数*の目安

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000曲（132kbps）	2,500曲（256kbps）	5,000曲（128kbps）
6,000曲（105kbps）	10,000曲（64kbps）	10,000曲（64kbps）
10,000曲（66kbps）	13,000曲（48kbps）	

* 1曲4分の曲を転送した場合

サンプリング周波数特性
44.1kHz（Atrac3plus）
32/44.1/48kHz（MP3）

再生信号圧縮方式
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）
MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）

周波数特性*
20 Hz ～ 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

出力端子
🎧（ヘッドホン）/LINE OUT*：
ステレオミニジャック/194mV（10kΩ）

* ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度
5 ～ 35℃

電源
DC IN 6V内蔵充電式電池使用

電池持続時間（連続再生時）
ATRAC3plus形式（48kbps）：約30時間
MP3形式（128kbps）：約22時間

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約90.0×62.1×14.8（最薄部13.8）mm
（最大突起部を含まず）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約90.8×63.4×15.7 mm

質量
本体：約130 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

あ行

アーティスト一覧　27
頭出し　24
アルバム一覧　27
アンインストール（SonicStage）　15
エクスプローラ　40
音量　22

か行

回数制限付きの曲　50
キャリングケース　9
グループ一覧　27
検索　25
検索（SonicStage）　20, 21
工場出荷設定　40

さ行

再生期限付きの曲　49
シャッフル再生　30
ジャンル一覧　27
充電時間　11
充電式電池　11
初期化　41

た行

通常再生　30
停止　24
デジタルサウンドプリセット　37
電池（取り出す）　43
電池の使用可能時間　13

な行

日本語　35

は行

早送り　24
早戻し　24
ビットレート　17, 24
ブックマーク　28
プレイモード　29
プレイユニット　31
プレイユニット再生　30
プレイユニットシャッフル再生　30
ヘッドホン　9
変換アダプター　9, 11, 19
ホールド（誤操作防止）　23
本体表示窓　10, 24

ま行

マイ ライブラリ（SonicStage）　16, 18, 38

ら行

リピート　32

次のページにつづく

A、B、C、D

ACパワーアダプター　9, 11
Album　27
Arena　34
Artist　27
ATRAC3plus　23
Audio Out　35, 39
AVLS　34
Backlight　35
Beep　34
Bookmark　28
CD-ROM（SonicStage）　9
Club　34
Contrast　35
Custom　34, 36
Deutsch　35
Digital Sound Preset　34

E、F、G、H

English　35
Español　35
Français　35
Genre　27
Group　27
Headphone　35, 39
Heavy　34
HOLD機能　23

I、J、K、L

Italiano　35
Jazz　34
Korean　35
Language　35
Line Out　35, 39
Live　34

M、N、O、P

MODE　25
MP3　23
Negative　35
New Tracks　27
Normal　30
Others　27
Play Mode　29
Play Unit　30
Pops　34
Positive　35

Q、R、S、T

Repeat　32
Reverse Display　35
Simple Chinese　35
SonicStage　14
Sound　34
Sound EQ　34
Studio　34
Track SHUF　30
Traditional Chinese　35

U、V、W、X、Y、Z

Unique　34
Unit SHUF　30
USB接続ケーブル　9
V-SUR　34
Windowsのエクスプローラ　40

記号

（New Tracks）　27
（アーティスト）　25
（アルバム）　25
（グループ）　25
SHUF（シャッフル再生）　30
（ジャンル）　25
（電池残量）　13
（ブックマーク）　28
（プレイユニット再生）　30
SHUF（プレイユニットシャッフル再生）　30
（リピート）　32
1（1曲再生）　30
1Track　30

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ (http://www.sony.co.jp/support-pa/)**
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ （下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：NW-HD3
    - 製造（シリアル）番号：本体裏面のラベルに記載
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境（「必要な環境を準備する」☞14ページ）を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル** ………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- **携帯電話・PHSでのご利用は**… 03-5448-3311
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- **FAX** ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35